

令和7年度 北醍醐小学校 学校経営方針

京都市学校教育の重点 目指す子ども像

「伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども」

学校教育目標

「仲間と未来を創造し自ら学ぶ子どもを育てる」

～やる気 粘り強さ 思いやりの心

《目指す学校像》

★命を守り、支え合い、誰一人取り残さない学校

○子どもが「大好き！」と言える学校

○保護者、地域に信頼され、共に子どもを育む学校

目指す子ども像

◇人と協働し考え合う子

◇人や物、自分を大切にする子

育成をめざす資質・能力

☆自律的活動力

心身を安定・維持しながら、主体的に考え、振り返り行動する力

☆人間関係形成力

個性を発揮しながら、様々な人とコミュニケーションを図り、協力、認め合って生活していく力

《目指す教職員像》

★主体性、相手意識、実践力を身につけ協働できる教職員

○子どもを真ん中において共に考え、行動する教職員

○学び続ける教職員

「アイデア」「チャレンジ」

確かな学力（知）

○「主体的・対話的で深い学び」の視点と共に「個別最適な学び・協働的な学び」の一体的な充実を目指した学びを進める。

○子どもの特性に応じた支援や教育を充実させる。

○日々の授業と家庭学習との連動を通して自学自習の習慣化を目指した取組を推進する。

○学校図書館の活用を指導計画の中に位置づけ実践を進める。

○GIGA 端末等を効果的に活用した学習活動を充実し、情報活用能力を育てる取組を推進する。

○自然体験活動や地域の人材や教材を生かした体験活動教育活動を展開する。

豊かな心（徳）

○異年齢集団・体験活動を通し、支え合い高め合う集団づくりを推進する。

○規範意識の醸成・育成を進める。

○学校のきまりについて全教職員共通理解のもと指導を徹底する。

○道徳教育の充実「道徳」の時間を核として学校教育全体で取り組む。

○豊かな感性・情操を育む教育の充実
○3つの「あ」の取組を推進する。

『あいさつ・ありがとう・あとしまつ』

○感動したことを表現する場を設定し、実践する。

○情報モラルや人権学習を通して、人権意識を高める取組を推進する。

健やかな体（体）

○休み時間、放課後を有効活用し、体力の向上を図る。（ジャンプアップ・部活動）

○『自分の体は自分で守る』防災教育、安全教育、保健教育を充実する。

○早寝早起き朝ごはん等、基本的な生活習慣を身につけさせる。

○食に関する指導を推進する。

○熱中症、感染症に対しては、予防策を正しく理解し、行動する態度を身に付ける。

教育目標実現に向けた取組の重点～『知・徳・体』の調和のとれた子どもの育成～

学校運営協議会理事会

地域

豊かな体験

確かな安心

楽しい学習

保護者

見守り隊

地域ぐるみの教育（家庭・地域との連携）

家庭・地域との連携

教職員の責任と自覚

P T A